



# 授業目的公衆送信補償金制度の概要と 補償金受領に係る手続きについて

---

一般社団法人

学術著作権協会

Japan Academic Association For Copyright Clearance

# 目 次

1. 授業目的公衆送信補償金制度の概要と補償金の分配について
  2. 補償金受領に必要な手続きについて
  3. 補償金分配までのフロー及びスケジュール
  4. その他補足事項
- (参考) 当協会について



# 1. 授業目的公衆送信補償金制度の概要と補償金の分配について



# 1-1. 授業目的公衆送信補償金制度とは

学校等の教育機関の授業で、予習・復習用に教員が他人の著作物を用いて作成した教材を生徒の端末に送信したり、サーバにアップロードしたりすることなど授業の過程で利用するために必要な公衆送信については、従来の著作権法では著作権者等の許諾が必要でしたが、教育機関の設置者が補償金を支払うことで、個別に著作権者等の許諾を得ることなく行うことができるようになる制度です。

※2018年の法改正で創設された制度です。詳しくは、別紙「授業目的公衆送信補償金制度の概要」（文化庁作成資料）や、本制度の指定管理団体である「一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会」（略称SARTRAS＜サートラス＞。以降は略称で表記）のホームページ（<https://sartras.or.jp/>）等をご覧ください。



## 1-2. 授業目的公衆補償金の分配について

授業目的公衆送信補償金制度を利用する際に支払われた補償金は、教育機関設置者からSARTRASに提出された著作物の利用報告に基づいて各権利者に分配します。

※利用報告の情報は、期間を限定したサンプル方式によって収集したデータとなります。詳しくは、SARTRASホームページの「利用報告(<https://sartras.or.jp/hokoku/>)」をご覧ください。

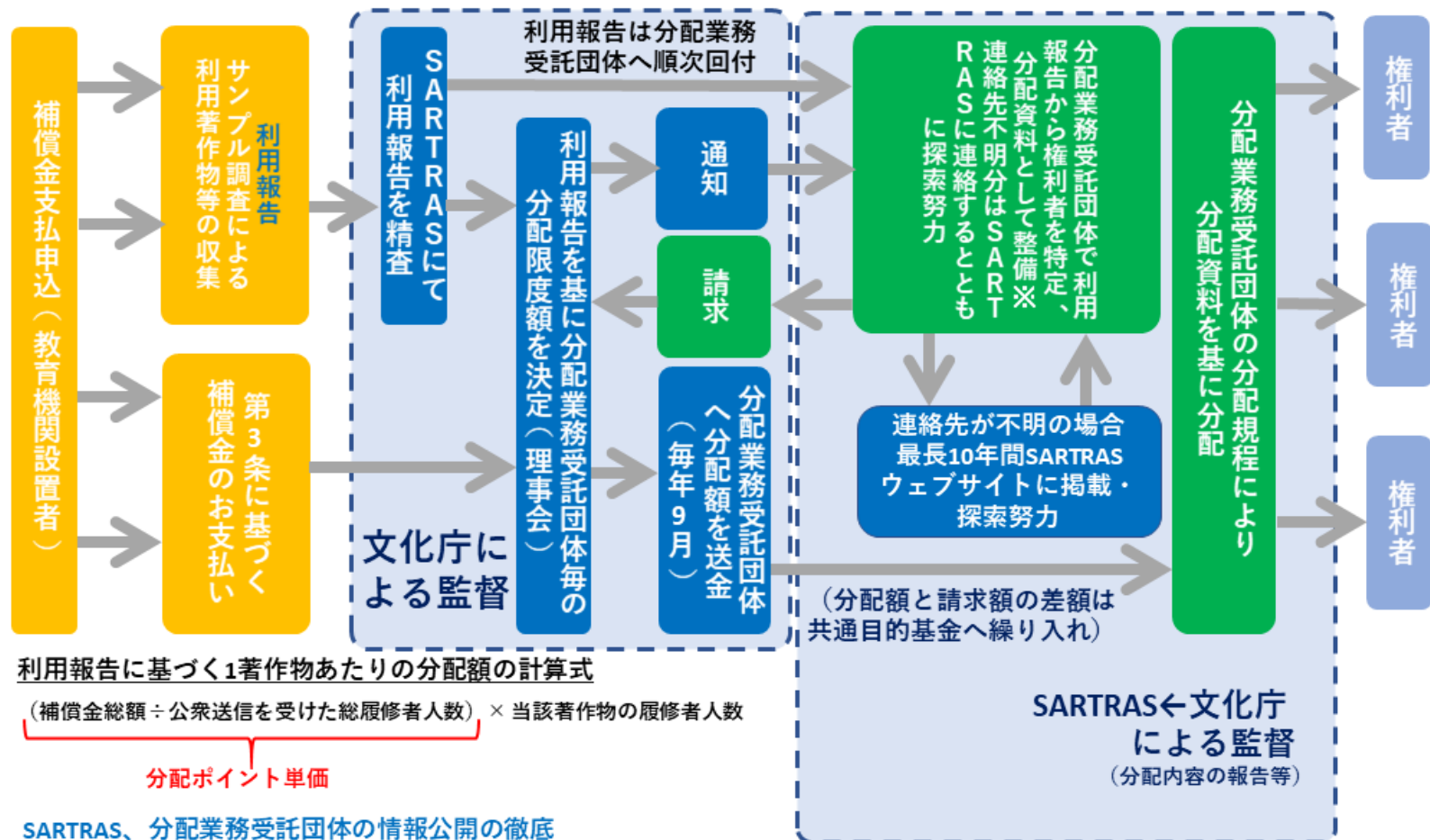
※教育機関設置者より支払われた補償金の年間総収受額のうち、共通目的事業のための基金と、授業目的公衆送信補償金規程の第4条に基づき分配する補償金を控除した分が、利用報告に基づいた各権利者への分配額となります。

※SARTRASホームページに掲載されている分配の概要を示した図を次頁に転載いたしますので、分配の仕組みや流れなどについてはそちらもご参照ください。



## 第3条補償金の分配（共通目的基金、管理手数料控除後） ※4条は利用報告どおり分配

- 補償金の著作者への分配業務は、分配業務を行う能力のある権利者団体等（分配業務受託団体）を選定し委託
- 選定にあたっては、著作権、著作隣接権の分野を幅広く網羅するよう複数の団体等を指定
- 現状分配業務受託団体が存在しない分野（例えば大学教員等）については、団体の設立を支援



利用報告に基づく1著作物あたりの分配額の計算式

$$\left( \frac{\text{補償金総額}}{\text{公衆送信を受けた総履修者人数}} \right) \times \text{当該著作物の履修者人数}$$

分配ポイント単価

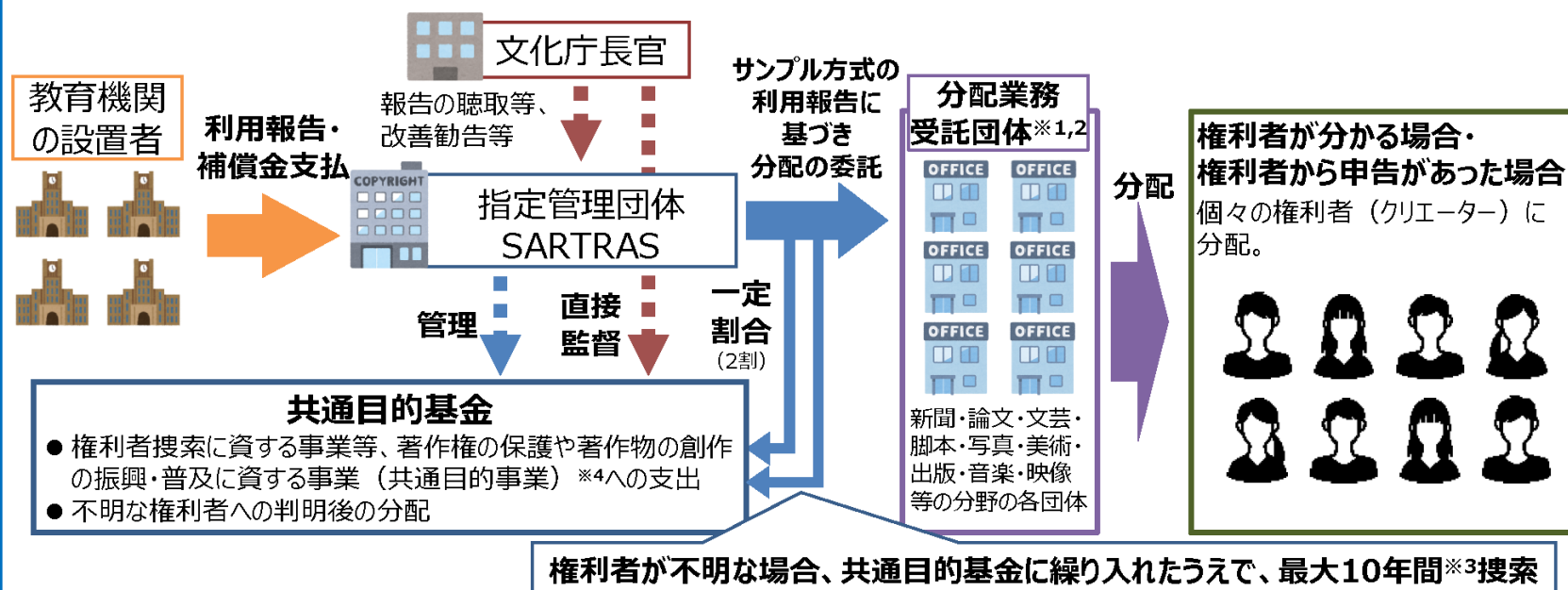
SARTRAS、分配業務受託団体の情報公開の徹底

管理手数料率とその根拠、分配規程、収支決算等



# 補償金の分配スキームの概要

- サンプル方式による利用報告に基づき、著作物の分野毎の著作権等管理事業者等に補償金の分配を委託し、受託団体ができる限り個別の権利者に分配。また、著作権の保護や著作物の創作の振興・普及に資する事業（共通目的事業）に支出。
- 権利者特定分のみ受託団体に分配を委託。それ以外の補償金収入額はSARTRASが管理し、文化庁が直接監督することで透明性を確保。



※1：権利者への補償金の分配を網羅的に遂行できる能力を有する著作権等管理事業者又は権利者団体。分配の再委託は原則不可。ただし適正で効率的な分配を実現するためやむをえない事情がある場合、SARTRASの承認を得て可能。再委託に係る経費は受託団体が負担。 ※2：分野を網羅する団体がない場合は、その設立支援を行う（大学教員への分配の窓口となる団体が来年度に設立される予定）。また、海外の権利者に対して分配を行う窓口となる団体を本年夏頃を目途に設立し、来年度中に外国の権利者団体と双務協定を締結予定。

※3：一般債権の消滅時効が最大10年であることから。 ※4：2022年度以降の事業実施に向け、学識経験者6名を委員として含めた共通目的事業委員会（全13名）をSARTRAS内に設置、2021年8月より具体的な事業内容の検討開始



文化審議会著作権分科会（第61回）（第21期第1回）資料8  
『授業目的公衆送信補償金制度』の本格運用についてから抜粋、一部加筆

## 1-3. 分配の実施方法について

SARTRASは補償金の収受を担いますが、各権利者への分配については、これまで著作物使用料等の権利者への分配を担ってきた「著作権等管理事業者等」が分配業務の委託を受けて実施します。

※分配業務を受託する団体を分配業務受託団体といいます。2022年5月25日現在、下表の15団体が決定されており（今後も追加される予定）、当協会もその受託団体の一つとなります。

### 分配業務受託団体一覧 ※( )内は主な担当分野

一般社団法人学術著作権協会（学術著作物）	一般社団法人新聞著作権管理協会（新聞）
協同組合日本脚本家連盟（脚本）	一般社団法人日本美術著作権連合（美術）
公益社団法人日本漫画家協会（漫画）	一般社団法人日本レコード協会（レコード製作者）
協同組合日本シナリオ作家協会（脚本）	一般社団法人教科書著作権協会（教科用図書）
一般社団法人日本美術著作権協会（美術）	一般社団法人日本音楽著作権協会（音楽）
株式会社NexTone（音楽）	一般社団法人日本写真著作権協会（写真）
公益社団法人日本専門新聞協会（新聞）	公益社団法人日本文藝家協会（文芸作品）
一般社団法人日本動画協会（アニメーション）	



## 2. 補償金受領に必要な手続きについて



## 【手続き①】

# ご担当者様の連絡先などの情報ご登録

---

お送りしたメール文面に登録用フォームのURLを記載しております。そこから「ご担当者様情報登録用フォーム」を開いていただき、連絡先などの情報をご入力ください。補償金に関するご連絡や、書類などをご送付する際に利用させていただきます。

※本案内は、貴団体のホームページ等で公開されているメールアドレス及びご住所宛にお届けしております。ご担当者様のご連絡先やご住所がそれらの情報と同じ場合でも、お手数ですがあらためてご入力をお願い致します。

※ご入力いただく個人情報は、当協会のプライバシーポリシーに則り厳正に管理し、補償金の分配に関わる用途以外には使用いたしません。プライバシーポリシーの詳細については、当協会のHP（<https://www.jaacc.org/privacy-policy/>）をご覧ください。



## 【手続き②】 専用マイページへのログイン

---

補償金受領までの手続きをWeb上で進めていただくために、権利者毎に専用マイページをご用意いたします。後日、手続き①にてご登録いただいたメールアドレス宛に、専用マイページのURLやログイン用のID・パスワードなどの情報をお知らせいたします。

以降の手続きについては、その専用マイページ上で行っていただきますので、お知らせしたID・パスワードでログインしてください。

※専用マイページのログイン方法や利用方法については、ID・パスワードなどの情報をお知らせする際にあらためてご案内いたします。



## 【手続き③】

# 著作物のご確認及び著作権についてご回答

---

教育機関からの利用報告の中で、貴団体が著作権者と推定される著作物をご提示いたします。

前述した専用マイページ上でその著作物をご確認いただき、著作権の権利関係や補償金の受領可否などについてご回答いただきます。

※著作物のご確認及びご回答方法については、専用マイページのID・パスワードをお知らせする際に詳細ご案内いたします。

※著作物の一覧は、専用マイページ上でご提示いたしますが、ダウンロードしてExcelファイルでもご確認いただける予定です。

※貴団体が著作権者でない著作物については、権利者の方をご教示いただき、ご連絡先などをお伺いする場合がございます。



## 【手続き④】 口座情報のご登録

---

補償金の分配はご指定の口座へのお振込みとなります。お振込み先となる口座情報を専用マイページにてご登録いただきます。

※専用マイページ上でいつでも登録・変更可能予定です。

※各権利者様への補償金分配額の確定は現状9～10月頃が見込まれておりますが、予定は変更される可能性がございます。その際は補償金の分配時期も変更となります。何卒ご了承ください。

※補償金分配額のご提示は、著作物毎に分配額を記載した明細書をご提供する予定となっております。（専用マイページ上でも確認できる運用が可能かどうかについては検討中です）

### 3. 補償金分配までのフロー及びスケジュール



現在  
ご依頼中の  
フロー

【手続き①】  
ご担当者様の連絡先などの情報ご登録

7～8月上旬

【手続き②】  
専用マイページへのログイン

手続き①完了次第  
IDなどご連絡

【手続き③】  
著作物のご確認及び著作権についてご回答

7～8月  
※ご確認依頼後1カ月程を締切

【手続き④】  
口座情報のご登録

補償金分配まで  
に登録

補償金分配額の確定

9～10月(予定)

補償金の分配  
(指定口座へのお振込み)

10～2月(予定)

## 4. その他補足事項





## 4-1. 各種手続きへのご協力について①

利用された著作物に関わらず、貴団体の方針として補償金を受領できないといったこともあるかと存じますが、補償金は次年度以降も継続的に発生しますので、その都度受領可否をご確認させていただく必要がございます。そのため、もし現時点で補償金を受領できないことが分かっている場合でも、大変お手数ですが、P.9～11でご説明した【手続き①～③】へのご対応をお願いいたしますと幸いです。

※補償金の受領可否に関わらず、【手続き①】でご登録いただいたご連先に専用マイページの情報をお送りいたします。受領できない場合は、【手続き③】の「著作物のご確認及び著作権についてご回答」の際にその旨をご回答ください。



## 4-2. 各種手続きへのご協力について②

各権利者への分配額を確定するために、利用された著作物の権利関係を把握する必要があります。補償金の受領可否について、内部手続きや意思決定などに時間を要することもあるかと存じますが、利用された著作物が貴団体の著作物かどうか（及び権利をお持ちか）につきましては、受領可否に関わらず事前にご確認の手続きを進めていただきたく存じます。

※例えば、実際に分配される金額が分からないと受領可否を決定できないといったケースがあるかと思いますが、上記のとおり、著作物の権利関係が把握できないと分配額の確定ができませんので、利用された著作物のご確認手続きは事前に進めていただけますと幸いです。（補償金の受領可否については、分配額が確定した際にあらためてご回答いただくという流れになります）



## 4-3. ご案内の重複について

P.7でご説明したとおり、補償金の分配を実施する団体は複数あり、分野毎で異なっております。原則としてSARTRASと権利者の間には一つの団体しか介在しないこととなっておりますが、例えば同じ著作物でも利用した箇所（文章、図表、写真、イラストなのかなど）によって分配を実施する団体が異なるケースもありますので、他の団体からも同様のご案内がくることもございます。

ご依頼する手続きなどは団体によって異なりますので、ご案内が重複した際も、お手数ですがご連絡先の登録などにご対応いただきたく存じます。

※SARTRASホームページ「補償金の分配」にも記載がありますとおり(<https://sartras.or.jp/bunpai/>)、分配を実施する団体ではなく、SARTRASが調査業務を委託している株式会社クロスワープ社より連絡先などのお問い合わせがくるケースもございます。



## 4-4. お問い合わせについて

- 授業目的公衆送信補償金制度全般に関するご質問につきましては、SARTRASへ直接お問い合わせください。なお、SARTRASホームページにて、お問い合わせフォームが用意されておりますので、そちらもご利用ください。

(<https://sartras.or.jp/preinquiry/>)

- 補償金受領に係る手続き等に関するご質問につきましては、下記アドレス宛にお問い合わせください。なお、各種手続き方法については、後日ご案内する際にあらためてご説明いたします。手続き方法以外でご不明な点等ありましたらお問い合わせください。

【お問い合わせ窓口】 [hosyo@jaacc.jp](mailto:hosyo@jaacc.jp)



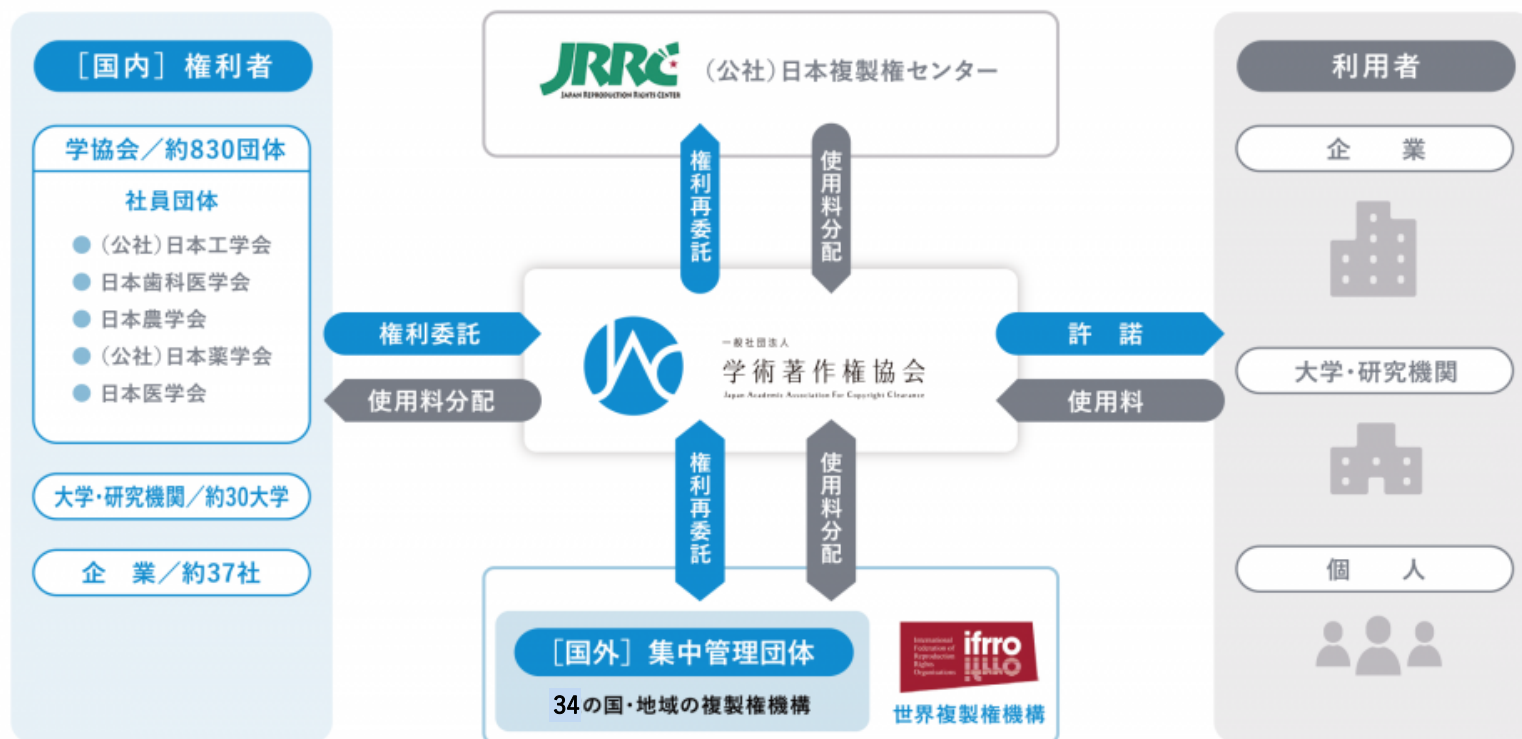
# (参考) 当協会について



# 当協会について

当協会（以下、JACと表記）は、文化庁登録の著作権等管理事業者であり、世界複製権機構（International Federation of Reproduction Rights : IFRRO）の正会員です。国内は主に学術団体、海外は双務協定を締結する国々の知的財産である著作権の集中管理を行なっています。

国内約930団体の学術雑誌・学術出版物等の著作権を管理しており、国内における著作権使用料に加え、双務協定を結ぶ国外の団体を通じ、34の国・地域での著作権使用料も徴収しております。



# JACの事業内容

JACは国内外の権利者から著作権の権利委託を受け、委託を受けた著作物の利用申請に対する許諾（著作権等管理事業）をおこなっています。事業を実施する上で、「管理委託契約約款」「使用料規程」「分配規程」を設けており、権利者から委託を受けた著作権は「管理委託契約約款」に基づいて管理し、「使用料規程」に基づいて利用者の方々から使用料を徴収の上、「分配規程」に基づいて各権利者に分配しています。

なお、当協会との契約は独占的なものではありませんので、権利者が直接許諾をされることにJACは関与いたしません。

## 学術著作物の集中管理による円滑な複製利用許諾





一般社団法人

# 学術著作権協会

Japan Academic Association For Copyright Clearance

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41

<https://www.jaacc.org/>

